

日本機械学会東海支部
第108回 講習会
クリーンエネルギー・・・持続可能な次世代エネルギーの開発

〔共催：精密工学会東海支部〕

〔協賛(予定)：エネルギー・資源学会，計測自動制御学会中部支部，自動車技術会中部支部，ターボ機械協会，電気学会東海支部，日本エネルギー学会，日本航空宇宙学会中部支部，日本材料学会東海支部，日本設計工学会東海支部，日本船舶海洋工学会関西支部，日本塑性加工学会東海支部，日本風力エネルギー協会〕

開催日 2009年1月28日(水) 9:45～16:25
会場 名古屋大学 野依学術記念交流館 [名古屋市千種区不老町]
地下鉄名城線「名古屋大学」駅 2番出口下車徒歩数分
(地図) http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/

趣 旨

地球温暖化の問題は、化石エネルギーに頼らない新たなエネルギーシステムとそれを用いた社会の再構築を人類に迫っております。本講習会では、地球温暖化対策や石油価格の高騰など現在の世界及び日本におけるエネルギーの動向全般について学ぶとともに、東海地区で新たなエネルギーシステムの開発に携わっておられる専門家の方々から最新の状況を拝聴し、持続可能な社会の構築に向けて、我々がなすべきことを考える機縁にしたいと存じます。

題目・講師

9:45～9:50 **開会の挨拶** 東海支部長 田中 皓一

9:50～10:50 **エネルギー動向全般・・・エネルギーを巡る現状と課題**

財団法人 日本エネルギー経済研究所

計量分析ユニット 需給分析・予測グループ リーダー 末広 茂

高騰する原油価格や地球温暖化問題などのトピックとともに、その背景にあるエネルギー需給構造の現状や今後の見通しについて概説する。そして、日本におけるエネルギー需要の動向や省エネなどへの取り組みについて紹介する。

11:00～12:00 **バイオ燃料・・・その車両への影響と製造技術**

トヨタ自動車株式会社 車両材料技術部 主査 林 倫

環境、資源等の観点から自動車用燃料は今後多様化してゆくと思われるが、その中でバイオ燃料は現在最も注目される燃料の1つである。今回は次世代バイオ燃料と呼ばれるセルロースエタノールおよび水素化バイオ軽油を中心に自動車への影響とその製造技術を中心に報告を行う。

13:00～14:00 **燃料電池・・・家庭用燃料電池の実用化に向けた取り組み**

東邦ガス株式会社 総合技術研究所 エネルギー技術開発部 P E F C

総括 中村 義弘

東邦ガスでは、2005年度から一般家庭において定格発電出力1kW級家庭用燃料電池シ

システムのモニター評価を実施しており、2008年度には累計120台となる。モニター評価の最新結果や省エネ効果を高めるために開発した最適運転制御技術などの取り組みについて紹介する。

14:10 ~ 15:10 バイオマス発電・・・CO₂フリー（炭素循環型）なバイオマスエネルギーの利用

中部電力株式会社 電力技術研究所 研究主幹 田中 雅

バイオマスエネルギーは、植物により変換され生物体内に蓄えられた有機物から得られるものであり、再生可能エネルギーの有効利用や地球温暖化対策等の観点から関心が高まっている。中部電力における技術開発の取り組み事例の紹介を中心に、バイオマスを利用する発電技術について概説する。

15:20 ~ 16:20 風力発電・・・その技術の現状と課題

名古屋大学 エコトピア科学研究所 教授 長谷川 豊

発電用の風力タービンは近年大型化・高効率化が進んでいるが、これらは、風力発電を支える広範な工学分野での技術進歩の賜物である。しかし、風力タービンは自然風況下で運転されるため強風による破損、落雷による火災等、克服すべき課題が多く残されている。講演では、風力発電に関わる技術の現状と課題を紹介する。

16:20 ~ 16:25 閉会の挨拶

定 員 100名（申込み先着順に受付け、定員になり次第締切ります）
参 加 費 会員 5,000円（学生員 1,000円）、会員外 7,000円（一般学生 1,500円）
いずれも教材1冊分代金を含みます。なお教材のみご希望の方は、1冊につき 会員 2,000円、会員外 3,000円を添えてお申込みください。講習会終了後発送いたします。

申込方法 日本機械学会東海支部ホームページ (<http://www.jsme.or.jp/tk/>)から**お申込み下さい**。

詳細はホームページをご覧ください。FAXでも申込みいただけます。この場合は、「東海支部第108回講習会申込み」と題記し、(1)氏名、会員資格、(2)参加券送付先、(3)勤務先名称、所属部課名、所在地、電話 / FAX 番号、E-mail アドレス をご記入の上お申込みください。

申 込 先 日本機械学会東海支部 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部機械工学教室内
TEL&FAX: (052) 789-4494, E-mail: tokaim@nuem.nagoya-u.ac.jp

申込締切 2009年1月16日（金）

ご 注 意

- (1) 領収書が必要な場合には、お申込みの際にその旨お申し出ください。
- (2) 参加決定者には、後日参加券をお送りしますので、当日必ずご持参下さい。